

令和元年度 学校運営等に関する評価書

|     |            |
|-----|------------|
| 学校名 | 和歌山市立吹上小学校 |
| 作成日 | 令和2年 3月13日 |

1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する  
 (ふ)深く考え、進んで学ぶ子 (き)気概をもち、めあてに向かって働く子  
 (あ)あたたかい心をもち、なかまとみがきあう子 (げ)元気いっぱい、体をきたえる子

2 学校の自己評価についてのご意見

|                    | 確かな学力   | 豊かな心  | 健やかな体  | 地域とともに  |
|--------------------|---|---|--|---|
| 指標                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。</li> <li>・毎日の勉強が分かる(児童95%)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる(児童90%)</li> <li>・学校や社会のきまりを守っている(児童90%)</li> <li>・いじめ解消率(100%)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時間が楽しいと感じる(児童90%)</li> <li>・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備した(教員90%)</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)</li> <li>・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教員90%)</li> </ul>   |
| 重点目標に対する意見         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども主体の意味を掘り下げるのは難しいと思う。</li> <li>・授業において、子どもが集中力を保つ工夫が、より必要ではないかと思う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長年にわたって異年齢でのなかよし活動を続けてこられた成果が今年も出ている。</li> <li>・児童相互の関わりを把握するための日常の観察眼を鍛える必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋力アップに加えて、バランス運動も取り入れていく必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会による図書の本の寄贈の呼びかけ、図書ボランティアによる本の修繕や整理整頓のおかげで、図書室がとても明るくなり、本に親しみやすくなったと感じます。</li> </ul>  |
| 取組の状況に対する意見        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会では文字離れが問題となる中、読書活動の推進に力を入れているのは、素晴らしい取組みだと思う。</li> <li>・分かりやすい授業を工夫していると答えた保護者の割合が7ポイントアップした要因をきちんと分析し、そこを大切に取組を継続してほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通して、体験活動や見学を実施していることは、子どもの視点を多方面に向けることや豊かな心の育成に有効であると思う。</li> <li>・いじめアンケートの実施で、担任の先生が一人一人話を聞いてくれたそうで、とてもいい対応だったと思います。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養について児童に関心を持たせる取組みがあればよいと感じる。</li> <li>・給食のラッキー人参の取組みは、子どもたちも大喜びである。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動に関わる中で、吹上小学校の児童の積極性に触れ、嬉しく感じた。また、子どもたち皆が仲良しであることも伝わってきた。</li> </ul>  |
| 次年度に向けての改善方法に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビの番組で、校長先生と小学生がクイズを考えて学校生活を充実させている取組みを見た。このように楽しみながら学力や柔軟な思考を育めればと思う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による命の授業を参観した。分かりやすい内容で、しかも親の私も知らないことがあり、大変勉強になった。継続してほしい。</li> <li>・子どもたちに規則を守ることを深く考える機会を設けることも必要である。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力・運動能力調査で県・国平均を下回っている種目を減らすために運動量を確保することは、限られた時間や場所の中では、かなり難しいと思われる。より一層の創意工夫を期待したい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員がオーバーワークで疲弊しては良い教育はできない。心身ともに余裕のある状態で子どもに向き合うことができるよう、より一層学校・保護者・地域の連携を図っていききたい。</li> <li>・学校だよりが、今年度よりHPIには掲載されるようになって良かったが、自治会による回覧も検討するといいいのではないか。</li> </ul> |

3 其他のご意見

・教職員の真剣な取組みが、学習状況調査等の良い結果に表れたと思います。今後も児童の健全育成と安心・安全な学校・家庭・地域づくりに協力していきたい。  
 ・学んでなお柔軟な発想を失わないためには、根底に自由な精神が必要と思う。